

6つ子7組

著作：ロッカクだんご 

2人・3人・4人用、雲集霧散を繰り返す自由な乙女達のスラップスティックカードゲーム

内容物

ラミネートカード【合計44枚】

- 6つ子カード 1から7までの数字と6種類のマークの組み合わせ（7×6の合計42枚）
- 表紙（上下違い各1枚の合計2枚） 注：表紙はゲームで使用しません

ゲームの目的

「①規定の枚数の6つ子カードを得点化した者」もしくは「②後述する「山札」がゼロとなった時（ゼロとなった瞬間）に手札の最も少ない者」が勝者となります。手札の最も少ない者が複数人いた場合、その中で一番多く6つ子カードを得点化した者が勝者となります。それでも決着が付かない場合は引き分けです。

規定の得点枚数は、2人・3人プレイの場合は15枚。4人プレイの場合は12枚となります。

ゲームの準備

- 42枚の6つ子カードを裏のまま良く切り（シャッフルし）、ひとつのカードの束（山札）を裏のまま作ります。
- 各プレイヤーは4枚ずつ、山札から6つ子カードを引きます。
- 引いた6つ子カードは、引いたプレイヤーのみが確認することができます（手札）。
各プレイヤーが持っている6つ子カードの枚数は公開情報です。同様に、山札の残り枚数も公開情報です。各プレイヤーは好きなタイミングでそれらを確認することができます
- 任意の方法でスタートプレイヤーを決めます。
その後は、時計回りにプレイヤー（手番）が変わります。スタートプレイヤーから順番に、以下の手順で手番を進めます。

手番の進め方

- スタートフェイズ

①スタートオープン

手番が始まったら、山札の1番上のカードを1枚オープンし、山札の周りに置きます（フリーカード）。これは、各プレイヤーの手番で、毎回実行します。（※4人プレイの場合は実行しません）

②スタートドロウ

手番のプレイヤーは、山札もしくはフリーカードから、1枚を手札に加えます。

注：上記の①②は、手番の最初に必ず実行しなければなりません。（後述の「解散」は例外）

例：あなたの手番になり、あなたは山札から1枚のカードをオープンします。結果は「●2」です。あなたは「●2」をフリーカードとして山札の周りに置きます（置かねばなりません）。既に場には「■3」がフリーカードとして置かれています。あなたは「■3」を手札に加えました。

- 6つ子カードを組み合わせる

「手札のカード複数」もしくは「手札のカード複数+【場】のカード1枚」を組み合わせる（セットする）ことで、6つ子カードを得点化することができます。組み合わせた（セットした）6つ子カードは、各プレイヤーの前に表にして並べて置きます。（並べたカードの枚数が得点となります）

各プレイヤーがそれぞれ取得した6つ子カード（セット）は、公開情報です。

フリーカードは【場】のカードとなります。同様に、既に他のプレイヤーの前に並んでいるカード（他のプレイヤーのセット）も【場】のカードとなります。【場】のカードは1枚のみ利用できます。例外として、既に自身の前に並んでいるカード（自分のセット）は【場】のカードとはなりません（後述する「解散」の手順により、一旦フリーカードとしなければなりません）。





- 6つ子カードをセットしようとする場合、以下の組み合わせルールに従わなければなりません。
- ①セットしようとする全てのカードが「同じ数字」もしくは「同じマーク」でなければならない。
 - ②3枚以上の組み合わせでなければならない（3枚はOK）。
 - ③既に他のプレイヤーの前に並んでいるカード（他プレイヤーのセット）を対象とする場合、完成後の自身のセット枚数が、相手のセット枚数を超える必要があります（手札2枚を使って、相手の3枚セットから1枚を奪うことはできません。2枚セット・1枚セットであれば奪えます）。

例：あなたの手札は「●1」「●2」「●3」「■4」「+4」です。相手プレイヤーの前には「●4」「▼4」「×4」の3枚セットが並んでいます。

あなたは手札の「●1」「●2」「●3」に、相手プレイヤーの「●4」を加え、「●1」「●2」「●3」「●4」の4枚セットを作ります（相手プレイヤーから「●4」のカードを奪います）。その後あなたは「■4」「+4」に相手プレイヤーの「▼4」を加え、「■4」「+4」「▼4」の3枚セットを作ります（相手プレイヤーから「▼4」のカードを奪います）。

結果、あなたは「●1」「●2」「●3」「●4」の4枚セットと、「■4」「+4」「▼4」の3枚セットの2つのセットを持つことになります。（これで7点となります。相手は3点→1点）

注：並んでいるセットは、他のセットと勝手にくっつけたりしてはいけません。

●手札の補充

手番プレイヤーの手札が4枚未満の場合（0枚・1枚・2枚・3枚の場合）、山札もしくはフリーカードから、手札が4枚になるまで好きな枚数を引くことができます。

例：あなたの手札は0枚です。あなたは山札から1枚引きました。結果は「×3」です。あなたは「×3」のカードを手札に加え（加えねばなりません）、さらにフリーカードの「×6」を手札に加えました。あなたはさらに手札を増やすこともできますが、手番を終了することにしました。

「6つ子カードを組み合わせる」「手札の補充」のアクションは、自身の手番であれば好きな順番で何回でも行うことができます。手札を補充して山札がゼロとなった場合、手札はプラスされます。

●手札を捨てる

手番を終了するには、手札を4枚以下にしなければなりません。手札が5枚の場合、手番終了前に手札から1枚のカードを選び、フリーカードとして【場】に提供しなければなりません。

●場の6つ子カードを解散させる

既に自分の前に並んでいるセットを解散させ、そのセットのカード全てをフリーカードとすることができます。これは、自身の手番であれば好きなタイミングで何回でも行うことができます。

注：セット全てのカードをフリーカードとしなければなりません。一部のみ解散させることはできません。また解散は、スタートフェイズのスタートドロウの前でも行うことができます。

注：その手番（同じターン）で取得したセットは、解散することができません。取得後に解散するには、次の自分の手番まで待つ必要があります。

取得したセットは、その手番の間のみ、既存のセットと分けて配置すると良いでしょう。

例：あなたは「●1」「●2」「●6」の3枚セットと「■4」「+4」「×4」の3枚セットの2つのセットを持っています。スタートオープンで「■5」のカードがフリーカードとして場に並びました。あなたは「●1」「●2」「●6」の3枚セットを解散させ、「●6」のカードを手札に加えます（スタートドロウ）。あなたは手札の「+6」「×6」「●6」のカードと相手の場にあった「■6」を合わせ、「+6」「×6」「●6」「■6」の4枚セットを完成させます。その後、あなたは解散してフリーカードとなっていた「●1」「●2」を手札に戻しました。この手番では、完成させた「+6」「×6」「●6」「■6」の4枚セットを解散することはできません。（「■4」「+4」「×4」の3枚セットは解散することができます）

